

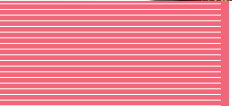
Facebookの “いいね”は、 相手を知る手がかり

コミヤ書籍の小宮さんは、
広告・グラフィックデザイン業界では言わずと知れた有名人。
仕事内容は、ひと言で言えば“歩く本屋さん”。
今回は、ニッチな市場で四半世紀もの間活躍し続ける
小宮さんご自身と、その仕事内容についてご紹介します！



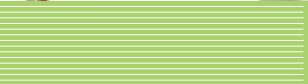
■ 福岡では独占企業!? “移動書籍販売”

例えば、「環境をテーマにした会社案内のデザイン集が見たい」、「海外のかっこいい名刺デザインの本ある？」などなど、私たちが見たい資料をリクエストすると、大きな黒い鞆を抱えて現れるのがコミヤ書籍の小宮善司さん。和洋専門書の“移動書籍販売”というスタイルを福岡でほぼ独占企業状態で続けているというのは、何か秘策があるのでしょうか？早速、伺ってみました！



■ どこで買っても同じ本を、小宮さんから買う

「実は営業が苦手だから、お客さんのところに行っても、僕はあまり喋らないんです」え！どういうことですか？「僕が喋らなくても、本が勝手に喋ってくれるというか、何がヒントになるかは人それぞれですし、それに、リクエストをいただいたジャンル以外のものが喜ばれるケースも結構あるんです」でもそれって、ピンポイントで持っていくのは難しくないですか？「そうですね。だから、リクエストはあくまでも参考程度に、その人の趣味や好みをなるべく把握するようにして、今回はこういうのが必要な？と想定しながら持参しています」なるほど！だから私たちは、どこで買っても同じ本を“小宮さん”から買いたくなるんですね！「最近Facebookもあるから、ずいぶん助かっています。結構プライベートなことも載せていますけど、あの“いいね”ボタンをどのトピックスに押しているかも、相手を知る手がかりになるんです」小宮さんのFacebookは新刊情報だけでなく、趣味のランニング情報も掲載されていて、私も小宮さんの意外な一面をそこから知った一人。「もともとは健康管理のために始めたんですが、つい最近42.195kmを6時間以内で走ることができました」いずれはフルマラソンにも参加したいと語る小宮さんは、“継続は力なり”を公私ともに実行されている感じがします。



■ 本屋の小宮さんが好きな一冊

コミヤ書籍を立ち上げたのは、1994年。きっかけは、それ以前に6年間勤めていたブックマン九州という同じく移動書籍販売の企業が九州支社を閉めることになったから。かれこれ25年も本に携わっている小宮さんって、よっぽど本がお好きなんですか？「本というより、写真集が好きですね。書籍に関わる前は映像カメラマンをやっていたので、報道系の写真は特に好きです。最初はロバート・キャパに衝撃を受け、今は、報道写真家でありながら戦争が起きている現地の日常風景を撮るロベール・ドアノー、女性を美しく撮ることで有名なジャンル・シーフというフランスの写真家が好きです」長年、書籍に携わってこられただけあって、他にも数々のお名前を挙げる小宮さん。「僕自身は、まじめすぎるのが短所で、いまだに営業は苦手だと思ってるんですけど…(笑)」いえいえ、小宮さんが黒い鞆からそっと差し出す資料をヒントに、たくさんのアイデアが形になって世の中に発信されていますよ！これからも私たちのHappyの源であり、広告・グラフィックデザイン業界を支える存在でいてくださいね！

Profile
 コミヤ書籍／代表取締役 小宮 善司
 1957年生まれ、福岡県北九州市出身。1980年に大開物産入社。商社マンとして働きながら、カメラ好きが高じて福岡ビデオシステムに転職。その後、ブックマン九州での書籍移動販売を経て、1994年にコミヤ書籍設立。趣味はランニング。高校3年生の娘さんと奥さまも“走るお父さん”を応援中。

撮影協力/
 イラストレーター・宮内大樹さんと
 グラフィックデザイナー・宮崎智文さんの共同事務所、
 通称「W宮事務所」にて。

フォトグラファー／山本 聡子(K' s)

